

R8.1月 たんぽぽぐみドキュメンテーション「真似してあそぶ」

Aちゃんが四角型磁石の玩具を重ねてあそんでいた。
あそんでいるAちゃんを見ていたBちゃんは同じ玩具を持ってきて隣でAちゃんの
様に四角型磁石を上に重ねていた。
Bちゃんに保育者が「Aちゃんと一緒のできたね」と声を掛けるとBちゃんは保育者
に嬉しそうに見せていた。



＜考察＞

Bちゃんは、以前は保育者と一対一で遊ぶことが多かったが、最近は友だちの側で遊ぶことも増えてきた。

友だちがやっている遊びに興味を持ち、『私も友だちと同じようにやってみたい』という気持ちが出てきて真似して遊ぶことにつながっていくのだなと感じた。友だちの遊びを通して磁石の遊び方もくっつけて離す遊びから同じ磁石を高く積み重ねていくというように遊び方が広がっていくのだなと感じた。

友だちとの遊びの時には、保育者は見守りながら必要な時に間にあって代弁したり応えながら関わりが楽しくなるようにしていきたい。